

第215回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年2月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,549	-1.27	-0.16	4,125	0.19	-0.04
東部地区	14,237	-0.55	-0.09	5,695	-0.12	-0.07
西部地区	10,386	-1.14	0.01	3,989	0.12	0.12
駅南地区	6,340	-0.01	-0.06	2,764	0.69	0.14
半田地区	3,685	-0.43	-0.16	1,394	-0.49	-0.28
横山地区	5,578	-1.34	-0.07	1,935	-0.51	-0.15
茨目・田尻地区	7,024	0.00	-0.01	2,475	2.10	0.00
荒浜地区	5,002	-0.91	0.01	2,006	-0.19	-0.04
その他地区	19,471	-1.74	-0.11	7,138	-0.27	0.07
西山町地区	5,962	-2.48	-0.28	2,116	-1.62	-0.09
高柳町地区	1,680	-4.00	-0.47	789	-1.62	0.12
柏崎市計	88,914	-1.14	-0.09	34,426	-0.03	0.00
刈羽村	4,788	-1.27	-0.12	1,562	-0.69	-0.25
小国地区（長岡市）	5,908	-2.26	-0.18	2,119	-0.79	-0.18
出雲崎町	4,842	-2.37	-0.18	1,767	-1.28	-0.05
合計	104,452	-1.27	-0.10	39,874	-0.16	-0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,030人、1.14%、刈羽村で62人、1.27%、小国地区（長岡市）で、137人、2.26%、出雲崎町で118人、2.37%とそれぞれ減少しており、全体では1,347人、1.27%の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で89人、0.09%、刈羽村で6人、0.12%、小国地区で11人、0.18%、出雲崎町で9人、0.18%減少しており、全体では115人、0.10%減少している。同様に、世帯数も、前年同月比では、柏崎市で13世帯、0.03%、刈羽村で11世帯、0.69%、小国地区で17世帯、0.79%、出雲崎町で23世帯、1.28%減少したことから、全体では64世帯、0.16%の減少となった。また、前月比は、柏崎市で1世帯、0.00%、刈羽村で4世帯、0.25%、小国地区で4世帯、0.18%、出雲崎町で1世帯、0.05%減少した結果、全体では10世帯、0.02%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,591		26.16		8.60	
月間有効求職者	1,757		-8.25		2.32	
月間有効求人倍率	0.91	1.11	0.25*	0.22*	0.06*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,591人と前年同月比で330人、26.16%の増加となり、前月比でも126人、8.60%増加している。

月間有効求職者数は、1,757人と前年同月比で158人、8.25%減少しているものの、前月比では40人、2.32%増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.91倍と前年同月比で0.25ポイント、前月比では0.06ポイント上回っている。なお、県平均1.11倍と比べると0.20ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が679人と前年同月比で92人、15.67%増加し、月間新規求職者数が488人と前年同月比で83人、14.53%減少した結果、月間新規求人倍率は1.39倍となり、前年同月の1.03倍に比べて0.36ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	13	-8	0	358	45
共 同 住 宅	0	0	0	13	-15
事 務 所	1	-1	0	9	3
作 業 所 ・ 工 場	0	0	0	4	-4
営 業 建 物	3	2	1	21	3
公 共 建 物	0	-1	0	3	-1
そ の 他	5	-2	-1	105	-18
合 計	22	-10	0	513	13

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が22件と前年同月比では10件の減少となる。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比8件の減少となっている。同様に、事務所は同1件、公共建物は同1件、その他は同2件減少している。一方、営業建物は前年同月比2件の増加している。なお、工種全体の申請内容は、新築が19件となっており、また一般住宅(併用)13件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が7件(うち新築6件)、市外施工業者が6件(うち新築5件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,804	0.41	0.05	26,840	3.57	-10.99
電 力	10,044	-2.90	0.00	40,509	0.28	0.66

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で275口、0.41%増加し、前月比でも、33口、0.05%増加している。一方、電力においては、前年同月比で301口、2.90%減少し、前月比でも1口、0.00%減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で926kwh、3.57%増加し、前月比でも、3,314kwh、10.99%減少している。一方、電力においては、前年同月比で115kwh、0.28%増加し、前月比でも、268kwh、0.66%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,668,952	-2.73	-0.13	676,091	0.80	-3.06
営 業 用	335,096	2.82	0.37	114,677	9.65	4.09
工 業 用	906,429	4.27	1.92	122,926	8.38	15.13
官 公 学 校 用	746,962	-0.14	3.39	76,384	3.06	4.81
そ の 他				60	-70.58	0.00
合 計	3,657,439	-0.04	1.12	990,138	2.81	0.28

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で1,687m³、0.04%減少し、前月比では40,679m³、1.12%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比は営業用、工業用で増加しており、前月比では家庭用を除く用途で増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比で27,120m³、2.81%増加し、前月比でも、2,830m³、0.28%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、その他を除く用途で増加しており、前月比でも、家庭用を除く用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	71,456	3.65	-5.31	72,618	0.74	-7.84
西 山	31,324	2.50	-6.47	29,309	6.25	-1.31
米 山	13,518	-1.86	-3.78	11,874	-7.86	-10.72
合 計	116,298	2.67	-5.45	113,801	1.10	-6.57

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域における高速道路出入口の交通量について、入口では全体の前年同月比で3,026台、2.67%増加しており、前月比では6,716台、5.45%減少している。
一方、出口では全体の前年同月比で1,247台、1.10%増加し、前月比では、8,004台、6.57%減少している。
インター別で見ると、前年同月比では、柏崎、西山の入口・出口で増加しており、前月比では、すべてのインターの入口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	368,691	2.20	0.68	142,962	-1.82	0.02
平 残	368,927	2.46	-0.69	142,601	-1.58	-0.54

預金は、末残が前年同月比で7,942百万円、2.20%増加となっており、前月比においても、2,504百万円、0.68%増加している。また、平残においては、前年同月比で8,858百万円、2.46%増加し、前月比では、2,595百万円、0.69%減少している。
一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,660百万円、1.82%減少したが、前月比では29百万円、0.02%増加している。平残においては、前年同月比で2,301百万円、1.58%の減少となり、前月比でも、775百万円、0.54%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	24,114	-5.49	-15.80
交 換 金 額	19,292	-8.24	-24.30
不 渡 り 手 形 枚 数	1	-96.00	-75.00
不 渡 り 手 形 金 額	2	-95.37	-34.72

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,402枚、5.49%減少し、前月比では4,528枚、15.80%減少している。また、交換金額においても前年同月比で1,734百万円、8.24%減少しており、前月比においても6,195百万円、24.30%減少している。なお、不渡り手形は1枚、約2百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、7件（前年同月2件、前月2件）、負債総額17億円（同22億円、同1億円）となっており、地区別では下越地区で3件（新潟市、佐渡市、北蒲原郡各1件）、中越地区で4件（三条市2件、長岡市、十日町市各1件）発生している。

業種別は、建設業、小売業で各2件、製造業、卸売業、運輸・通信業で各1件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が4件、その他が3件となっている。倒産件数は、前年同月比で5件、前月比で5件と大幅に増加しており、負債額9億円を超える倒産が1件発生している。

今後も、増税前の駆け込み需要に対する反動減などの不安材料もあり、倒産増加懸念が払拭できない状況が続くものと思われる。